

令和2年度 決算

6つのポイントで 市のお財布事情

昨年年度はどれくらい収入があり、市民の皆さんが納めた税金はどのような目的で使われたのか、財政課の鈴木さんに分かりやすく説明してもらいました。
会計とは、言い換えると「お財布」です。今月号では、令和2年度の「加西市のお財布事情」を6つのポイントにまとめてお伝えします。

問合せ先：財政課 ☎ 8710



まずは
ここから！

1 決算ってなに？

決算報告に入る前に、まずは決算とは何かを説明しましょう。

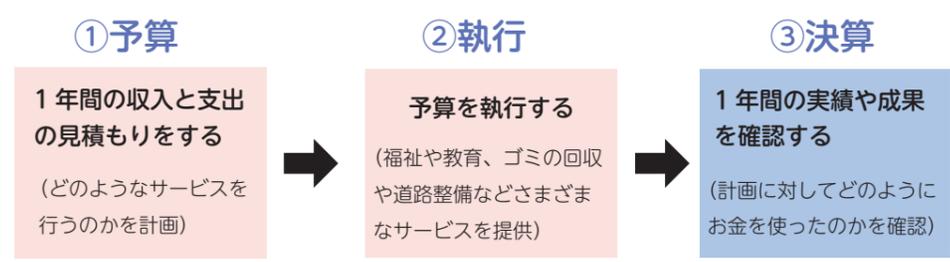
地方公共団体（市役所）は、こども園や小・中学校の運営をはじめ、ゴミの回収や処理、子育て・高齢者支援、道路や公園、水道、下水道の整備など、さまざまなサービスを行っています。

これらのサービスを計画的に行うために

- ① 使えるお金はどのくらいかを予測
- ② お金の使いみちを決定
- ③ 予定どおりにお金が使えたかを確認

この①から③までの資金調達から収支状況の確認までのお金の管理や運用状態のことをまとめて財政といいます。

そして、1年間に使えるお金がどれくらいかを予測し、その使いみちを決めることが「予算」、その予算を1年間でどのように使ったかを確認することが「決算」です。



ここがポイント！

2 会計（3つのお財布）

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。収入をどの事業に使用しているのかを分かりやすくするために、加西市では、お財布（会計）を

- ① 一般会計
- ② 特別会計
- ③ 企業会計

の3つに分けています。

一般会計

福祉、医療、子育て、教育、道路や公園の整備など市民の暮らしやまちづくりに必要な行政サービスを行う会計です。

企業会計

民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。（水道事業、下水道事業、病院事業です）

特別会計

保険料など特定の収入によって事業を行います。収支を明確にするため一般会計とは別に設置した会計です。（国民健康保険事業など5会計）

なるほど！なるほど！なるほど！3つの財布で市民サービスを提供しているんだね。それではいよいよ決算状況を見ていきましょう！



会計種別	歳入	歳出	収支	
一般会計	317億 964万円	306億 8,599万円	10億 2,365万円	
特別会計	国民健康保険	50億 5,055万円	49億 3,557万円	1億 1,498万円
	介護保険	50億 2,666万円	49億 6,279万円	6,387万円
	後期高齢者医療	7億 12万円	6億 9,741万円	271万円
	公園墓地整備事業	1,543万円	271万円	1,272万円
	産業団地整備事業	17億 7,594万円	8億 7,101万円	9億 493万円
企業会計	水道事業	10億 7,982万円	10億 1,989万円	5,993万円
	下水道事業	19億 5,810万円	22億 675万円	△2億 4,865万円
	病院事業	55億 599万円	52億 8,595万円	2億 2,004万円

1年間で市に入ったお金（歳入） 317億 964万円
 1年間で市が使ったお金（歳出） 306億 8,599万円
 歳入歳出差引額（形式収支） 10億 2,365万円

歳入歳出差引額（形式収支） 10億 2,365万円
 翌年度繰越財源 3億 4,134万円
実質収支 6億 8,231万円

一般会計決算の実質的な収支は6億 8,231万円の**黒字**でした。（令和元年度は3億 4,819万円の黒字）

チェック！

3 歳入歳出の決算状況

令和2年度の一般会計の決算額は、歳入317億964万円、歳出306億8599万円で差し引き10億2365万円の黒字となりました。特別会計はすべて黒字でした。企業会計は、水道事業で黒字、下水道事業は過去に多額の投資をしたため赤字、病院事業会計は令和元年度は赤字でしたが、入院診療報酬や国補助金による歳入増、給与費などの経費削減による歳出減の結果、令和2年度は2億2004万円の黒字になりました。

令和2年度 主要事業ピックアップ

- 1 市独自のコロナ対策事業
 - ①市内事業者支援・消費者還元 6億 5611万円
 コロナ禍の影響で、売上高の減少が生じた市内事業者への給付金による支援や、PayPay(株)と連携協定を結び、消費拡大による事業者支援を実施しました。
 - ②図書館に自動貸出機を設置 4497万円
 セルフサービスで利用者自らが貸出返却をします。非対面であり新型コロナウイルス等の感染リスクの低減も図っています。
 - ③すくすく赤ちゃん特別給付金 1720万円
 コロナ禍の不安の中で生まれた新生児の健やかな成長を支援するため、市独自の施策として対象児童1人につき10万円を支給しました。
 - ④水道料金6カ月間免除 3億 2800万円
 コロナ禍の影響で、市民生活および経済活動を支援するため、水道料金を6カ月間、家庭用は全額、業務用・公会堂用は基本料金を免除しました。
- 2 安全な学校給食の実施
 南部学校給食センター改築 9億 2946万円（うち令和2年度5億 7362万円）
 市内のすべての小中学校に、センターから給食を届けられるようになりました。
- 3 市民会館コミセン改修
 市民会館コミュニティセンター耐震改修 4億 1123万円（うち令和2年度3億 771万円）
 防衛省等の補助金を活用。照明のLED化、全館無線LAN(Wi-Fi)完備、オストメイト対応トイレの新設等設備更新を実施しました。

